

海外現地法人の動向（海外現地法人四半期(7～9月期)調査）

要 旨

平成15年10月～16年3月期の見通し(DI)は、

- ・売上高DIは、8期連続プラス。NIES3を除く全地域で2桁のプラス、特に中国が高水準を維持。前期比は4期ぶりに悪化。輸送機械等の悪化でアジア、北米が悪化し、欧州は輸送機械が好調で改善。
- ・設備投資DIは7期連続で2桁プラス、特に中国が10期連続2桁プラス。前期比は3期ぶりに悪化し、全地域が悪化。

平成15年7～9月期の実績は、

- ・売上高は6期連続増加。輸送機械等の増加からアジアが5期連続2桁の増加、欧州も6期連続増加。北米は鉄鋼の減少で2期連続減少。中国はIT関連が好調で5期連続の2桁増加。
- ・設備投資は3期連続の増加。輸送機械は北米、アジアが好調で増加。中国は4期連続で大幅増加。

今回調査のポイント

調査時点：平成15年11月中旬

1．売上高見通し(DI)⁴は20.1%ポイントと8期連続プラス。一方、前期比は 7.9%ポイントと4期ぶりに悪化

- (業種別) 当期DIは13業種中、精密機械を除き12業種がプラス。前期比では13業種中10業種が悪化。輸送機械は北米の悪化で同 7.0%ポイント、電気機械は同 8.5%ポイントと悪化。
- (地域別) 当期DIはNIES3³を除く全地域で2桁のプラス。中国¹は34.4%ポイントと高水準を維持。前期比ではアジアが輸送機械等の悪化で同 11.2%ポイント、北米は同 8.7%ポイントと、ともに4期ぶりの悪化。欧州は輸送機械等の改善で同11.6%ポイントと改善。

2．売上高実績はドルベースでは前年同期比5.7%増と6期連続増加。

- (業種別) 13業種中9業種が増加。輸送機械はアジア、欧州等が好調で同9.8%と6期連続増加。一方、鉄鋼は北米での撤退の影響で同 37.9%と4期連続の減少。
- (地域別) 輸送機械等が好調で、アジアは5期連続2桁増加し、欧州は6期連続の増加。一方、北米は鉄鋼等の減少から、同 1.4%と2期連続減少。中国はIT関連が好調で同 32.4%と5期連続10～30%台の増加と好調。

3．設備投資見通し(DI)は7期連続のプラス、前期比は 4.9%ポイントと3期ぶりに悪化。実績は前年同期比 6.4%と3期連続増加。

見通し(DI)は、当期DIは7期連続で2桁プラス。全地域もプラス。特に中国は輸送機械が好調で19.5%ポイントと10期連続2桁台のプラス。前期比が3期ぶりに悪化。13業種中9業種が悪化し、全地域で悪化。

実績は3期連続増加。北米は前年同期比18.8%と3期連続増加。アジアは電気機械、輸送機械が好調で4期連続の増加。特に中国はIT関連の増加で同41.7%と4期連続で大幅増加。欧州は輸送機械の減少から同 35.4%と2期連続減少。

注：前期調査（平成15年4～6月期）から原則ドルベースでの公表に変更。

当期実績の前年同期比は継続調査対象のみで算出（平成15年4～6月期から調査範囲の拡大(出資比率50%超50%以上)等を行ったことから、当期実績と前期以前の実績に断層が生じているため、前年度から当期に継続調査対象となった現地法人で算出した）。

* 1 中国：香港を含む。 * 2 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

* 3 NIES3：シンガポール、台湾、大韓民国

* 4： DI = 増加と回答した企業の割合 - 減少と回答した企業の割合

DIの前期比 = 当期DI - 前期DI

当期DI：平成15年7～9月期調査時点のDI（平成15年10月～16年3月期の見通し）

前期DI：平成15年4～6月期調査時点のDI（平成15年7～12月期の見通し）

1. 売上高

売上高D I（平成15年10月～16年3月期の見通し）は、20.1%ポイントと、8期連続プラス。一方、前期比では4期ぶりに悪化。

- ・ 当期D Iは13業種中、精密機械を除き12業種がプラス。前期比は13業種中10業種が悪化。輸送機械は北米の悪化から悪化し、電気機械も悪化。
- ・ 当期D IはN I E S 3を除く全地域で2桁のプラスで、中国は高水準を維持。前期比はアジア、北米ともに4期ぶりの悪化。欧州は輸送機械等が好調で改善。

売上高実績(ドルベース)は、前年同期比 5.7%と6期連続増加。

- ・ 13業種中9業種が増加。輸送機械はアジア、欧州等が好調で6期連続の増加。鉄鋼は北米での撤退の影響で4期連続の減少。
- ・ 輸送機械等が好調なことから、アジアは5期連続2桁増加し、欧州は6期連続の増加。北米は2期連続の減少。中国はI T関連が好調で5期連続大幅な増加。

（参考）海外経済は、アメリカの景気は力強く回復しており、アジアでは中国、タイ等で景気拡大が続き、台湾、シンガポール、韓国は景気持ち直しの動きがみられる。ユーロ圏は景気持ち直しの動きがみられる（月例経済報告(11月)より抜粋）。

(1) 売上高D Iは、20.1%ポイントと20%台を維持し、8期連続プラスとなった。一方、前期比では、7.9%ポイント（前期D I 28.0 当期D I 20.1）と、4期ぶりに悪化となった。

- ・ 業種別にみると、当期D Iは13業種中、精密機械を除き12業種がプラス水準を維持した。前期比は13業種中10業種が悪化した。輸送機械は北米の悪化から同 7.0%ポイント、電気機械は全地域で悪化し、同 8.5%ポイントとそれぞれ悪化した。一方、一般機械は欧州が改善したことから、同 2.2%ポイントと3期連続改善となった。
- ・ 地域別にみると、当期D IはN I E S 3を除く全地域で2桁のプラスとなった。特に中国は34.4%ポイントと引き続き他の地域に比べ、高い水準を維持している。前期比はアジアが輸送機械等の悪化見込みから 11.2%ポイント、北米は同 8.7%ポイントと、ともに4期ぶりの悪化となった。一方、欧州は輸送機械及び一般機械が前期悪化から改善したため、同11.6%ポイントと改善となった。

(2) 売上高（ドルベース）は、前年同期比5.7%と6期連続増加となった。

- ・ 業種別にみると、13業種中9業種が増加となった。輸送機械はアジア、欧州等が好調なことから前年同期比 9.8%と引き続き好調で6期連続の増加となった。一般機械は中国の事務機器の好調から同13.7%と6期連続増加、化学は同12.5%増と3期連続の増加となった。また、電気機械は同0.7%と前期に続きほぼ横ばい。一方、鉄鋼は北米での撤退の影響から、同 37.9%と大幅減となり、4期連続の減少となった。
- ・ 地域別にみると、アジアは輸送機械等が好調なことから5期連続2桁増加、欧州は輸送機械が好調で6期連続の増加となった。一方、北米は輸送機械は好調なものの、鉄鋼及び電気機械の減少の影響から、同 1.4%と2期連続の減少となった。
アジアでは、特に中国はI T関連が好調なことから同32.4%と大幅増加となり、5期連続10～30%台の大幅増加を続けている。また、N I E S 3は同 1.4%と3期ぶりに増加となった。

売上高の地域・主要業種別のD I見通し(平成15年10月 - 16年3月期)及び実績(平成15年7 - 9月期)

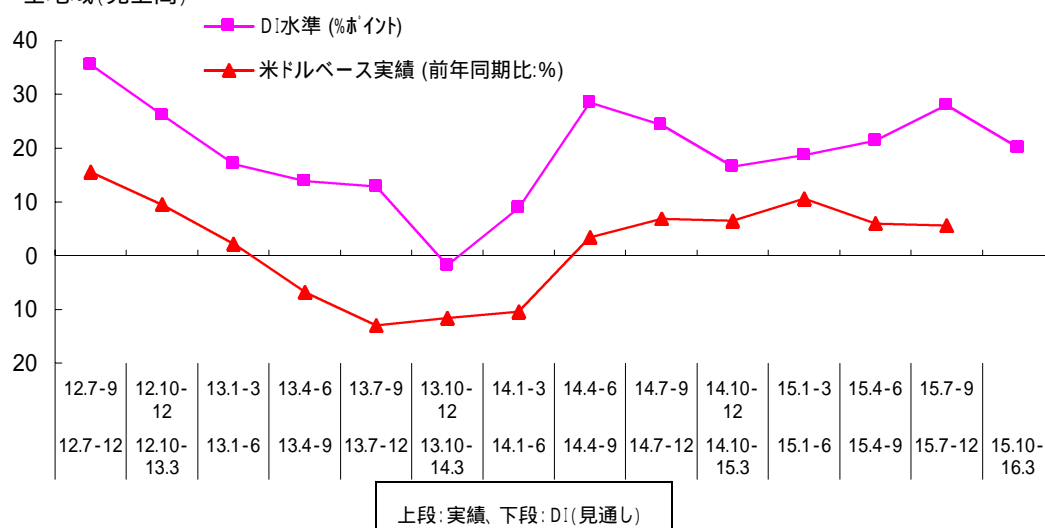
(単位: 前年同期比%、前期比%ポイント)

	計 (業種・地域)		輸送機械	電気機械	一般機械	化学	鉄鋼
D I (前期D I 当期D I)	28.0	20.1	26.4 19.4	28.8 20.3	25.8 28.0	26.8 23.2	37.5 10.4
D I (前期比)		7.9	7.0	8.5	2.2	3.6	27.1
実績 (前年同期比)		5.7	9.8	0.7	13.7	12.5	37.9

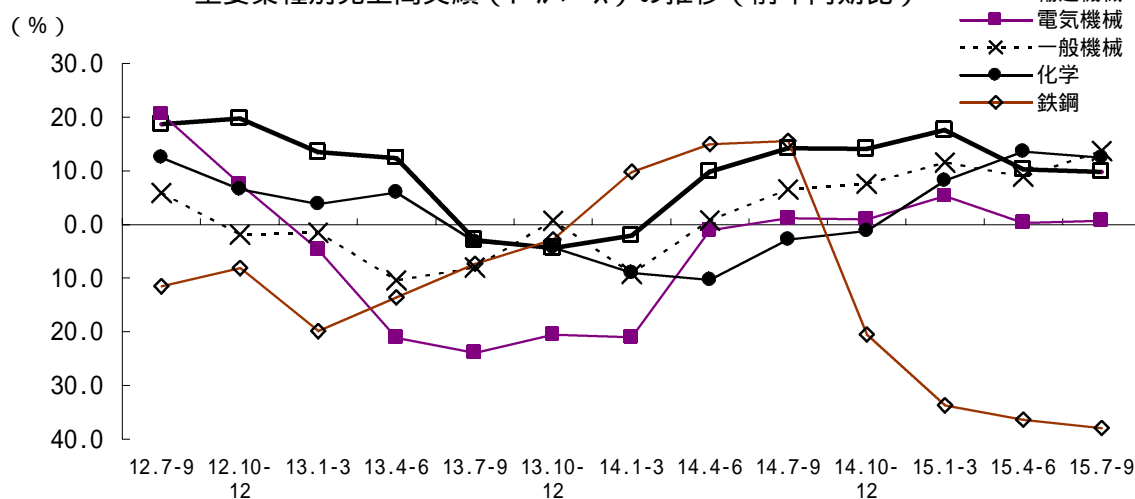
	北米	アジア	ASEAN4 ^{*2}	N I E S 3 ^{*3}	中国 (香港を含む)	欧州
D I (前期D I 当期D I)	21.6 12.9	34.6 23.4	32.3 19.3	11.7 7.1	47.7 34.4	4.6 16.2
D I (前期比)	8.7	11.2	13.0	4.6	13.3	11.6
実績 (前年同期比)	1.4	15.5	12.2	1.4	32.4	4.9

売上高の見通しDIと実績(ドルベース)の推移

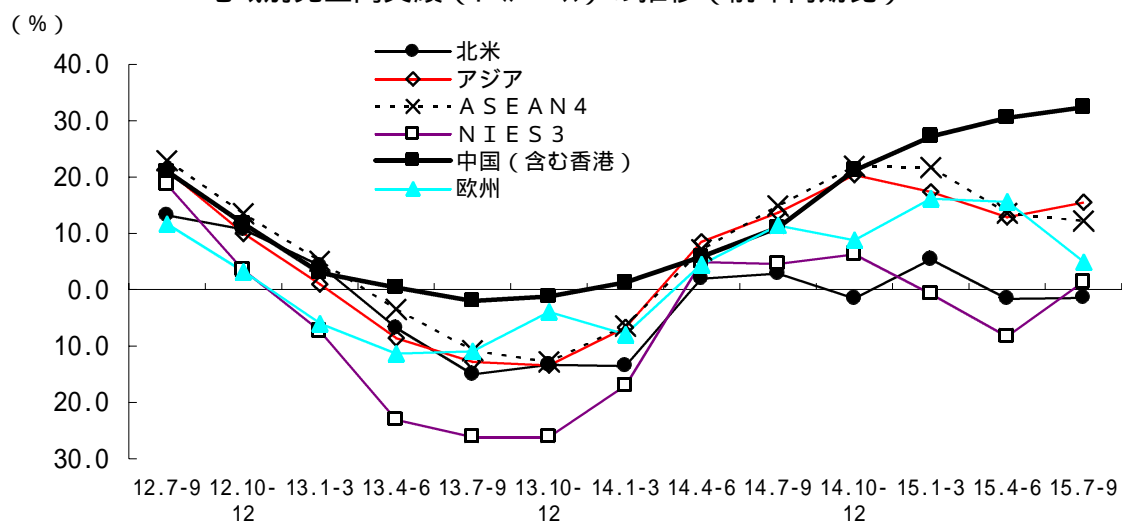
全地域(売上高)



主要業種別売上高実績(ドルベース)の推移(前年同期比)



地域別売上高実績(ドルベース)の推移(前年同期比)



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

設備投資額D I（平成15年10月～16年3月期の見通し）は7期連続2桁のプラス。一方、前期比は3期ぶりの悪化。

- ・ 当期D Iは13業種中12業種でプラス。前期比では13業種中9業種で悪化。電気機械は欧州の悪化から、輸送機械は北米の悪化で悪化。
- ・ 当期D Iは全地域で引き続きプラス。中国は輸送機械が好調で10期連続2桁台のプラス。前期比は北米を始め、全地域で悪化。

実績は、ドルベースでは前年同期比6.4%と3期連続の増加。

- ・ 輸送機械が北米、アジアの増加で4期連続の増加。電気機械は3期ぶりに増加。
- ・ 北米は3期連続の増加。アジアは電気機械、輸送機械が好調で4期連続の増加、特に中国はI T関連の増加から4期連続で大幅増加。欧州は輸送機械の減少から2期連続の減少。

(1) 設備投資額D Iは、12.5%ポイントと7期連続2桁のプラスとなった。一方、前期比では、4.9%ポイント（前期D I 17.4 当期D I 12.5）と3期ぶりの悪化となった。

- ・ 業種別にみると、当期D Iは13業種中12業種でプラスとなった。前期比は13業種中9業種で悪化となった。電気機械は欧州の悪化から同4.2%ポイントと3期ぶりに悪化した。輸送機械は北米の悪化から同3.9%ポイント、化学も同5.5%ポイントと悪化。
- ・ 地域別にみると、当期D Iは、全地域でプラスとなった。中でもアジアは15.1%ポイントと7期連続2桁台のプラスとなり、特に中国は輸送機械が好調なことから19.5%ポイントと半期調査から四半期調査に変更した13年4～6月期以降10期連続2桁台のプラスで推移している。前期比は、北米を始め、全地域で悪化となった。

(2) 設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比6.4%と3期連続増加となった。

- ・ 業種別にみると、13業種中6業種で増加となった。輸送機械は北米、アジアの増加から前年同期比6.2%と4期連続の増加となった。電気機械は同16.1%は3期ぶりに増加となった。
- ・ 地域別にみると、北米は同18.8%増と3期連続の増加となった。アジアは電気機械、輸送機械が好調なことから同23.9%と4期連続の増加となり、なかでも中国はI T関連の増加から同41.7%と4期連続20～50%台の増加となった。一方、欧州は輸送機械の減少から同35.4%と2期連続の減少となった。

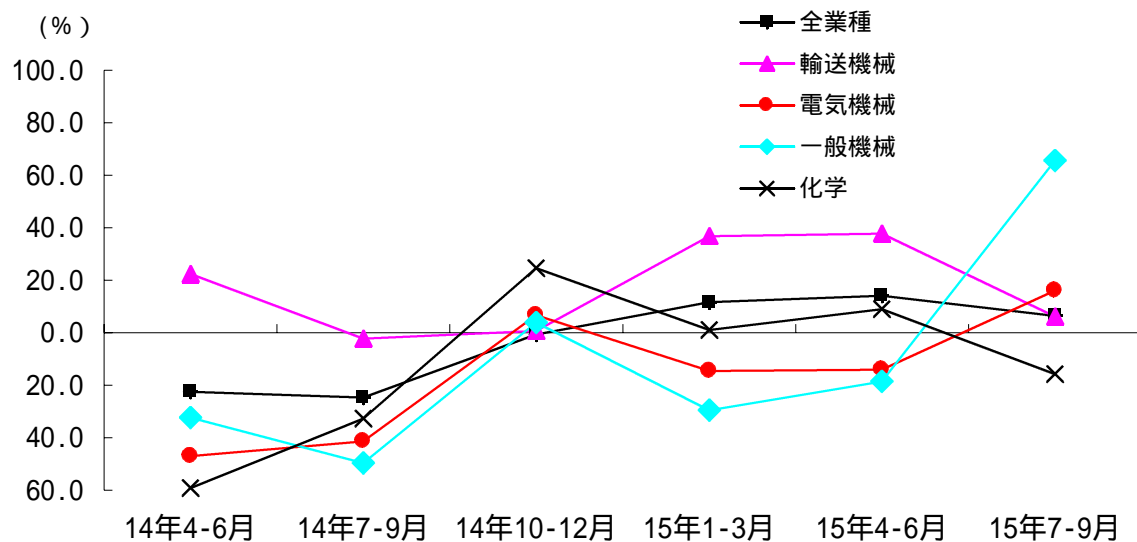
設備投資額の地域・主要業種別のD I見通し(平成15年10月 - 16年3月期)及び実績(平成15年7 - 9月期)

(単位:前年同期比%,前期比%ポイント)

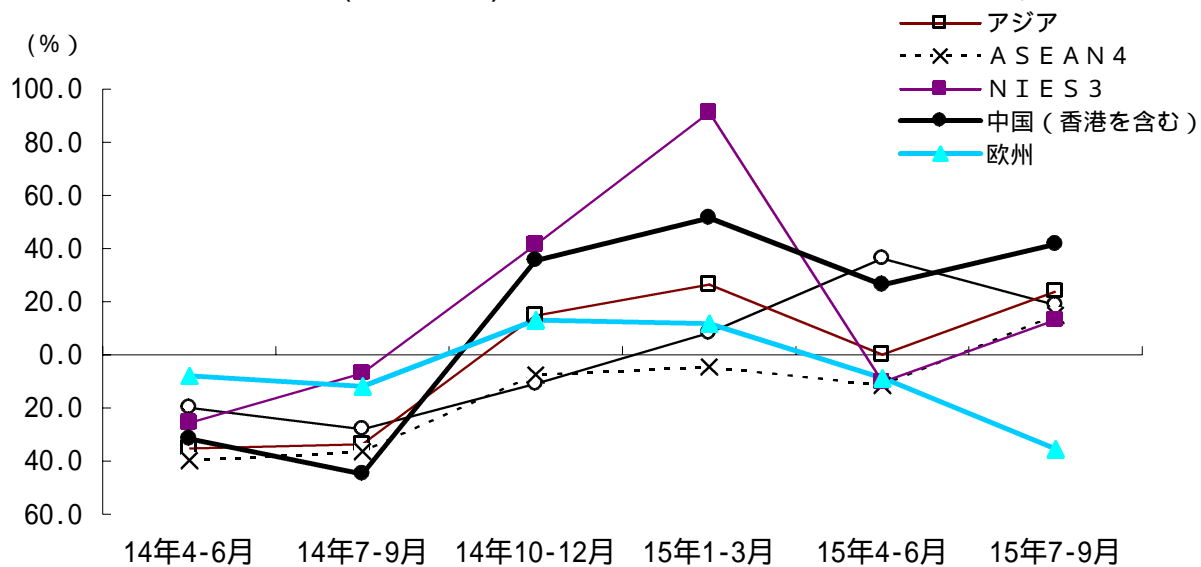
	計(業種・地域)		輸送機械		電気機械		一般機械		化学		鉄鋼	
D I(前期D I 当期D I)	17.4	12.5	20.8	16.9	15.0	10.8	12.4	12.6	17.7	12.2	26.7	8.9
D I(前期比)	4.9		3.9		4.2		0.2		5.5		17.8	
実績(前年同期比)	6.4		6.2		16.1		65.6		15.8		24.5	

	北米		アジア		ASEAN ⁴ *2		NIES ³ *3		中国(香港を含む)		欧州	
D I(前期D I 当期D I)	18.8	9.0	18.1	15.1	17.2	13.8	11.9	9.3	22.9	19.5	9.4	7.0
D I(前期比)	9.8		3.0		3.4		2.6		3.4		2.4	
実績(前年同期比)	18.8		23.9		14.9		13.2		41.7		35.4	

主要業種の設備投資額(ドルベース)(前年同期比)の推移



地域別の設備投資額(ドルベース)(前年同期比)の推移



3. 雇用

従業者数当期D I（平成15年10月～16年3月期の見通し）は、前期比 2.2%ポイントと、前期改善から悪化に転じた。当期D Iは 2.0%ポイントと5期連続プラス。

- ・ 前期比は輸送機械、一般機械など13業種中7業種で悪化。当期D Iは13業種中7業種がプラス。
- ・ 前期比は北米、欧州は前期改善から悪化となり、アジアは2期連続改善。当期D Iはアジアを除き全地域でマイナス。中国は17期連続2桁台のプラス。

従業者数（平成15年9月期末）は、前年同期比 2.7%増と6期連続の増加。

- ・ 輸送機械は8期連続増加、電気機械は5期連続増加。鉄鋼は4期連続減少。
- ・ アジアは7期連続増加、北米、欧州は引き続き減少傾向。特に中国は電気機械が好調で6期連続2桁増加。

(1) 従業者D Iは、前期比 2.2%ポイント（前期D I 4.2 当期D I 2.0）と、前期改善から悪化に転じた。一方、当期D Iは 2.0%ポイントと5期連続プラスとなった。

- ・ 業種別にみると、前期比は輸送機械、一般機械など13業種中7業種で悪化となった。当期D Iは13業種中7業種がプラスとなった。
- ・ 地域別にみると、前期比は、北米は同 7.1%ポイント、欧州は同 4.2%ポイントと、ともに前期改善から悪化となり、アジアは同 0.3%ポイントと2期連続改善した。アジアでは、特にN I E S 3が同 7.9%ポイントと2期連続改善となった。当期D Iはアジアを除き全地域でマイナスとなった。アジアでは、特に中国が15.5%ポイントと17期連続2桁台のプラスで推移している。

(2) 従業者数（期末）は 232万人、前年同期比2.7%と6期連続の増加となった。

- ・ 業種別にみると、輸送機械は同7.8%と8期連続の増加となり、電気機械は同2.6%と5期連続の増加となった。一方、鉄鋼は同 32.1%と大幅減となり、4期連続の減少となった。
- ・ 地域別にみると、アジアは同7.5%と7期連続の増加となった。一方、電気機械の減少から、北米は同 5.9%と10期連続の減少、欧州は同 5.1%と11期連続の減少となった。アジアでは、特に中国が電気機械が好調なことから同15.3%と6期連続2桁増加となった。

従業者数の地域・主要業種別のD I見通し（平成15年10月 - 16年3月期）及び実績（平成15年7 - 9月期）

（単位：前年同期比%、前期比%ポイント）

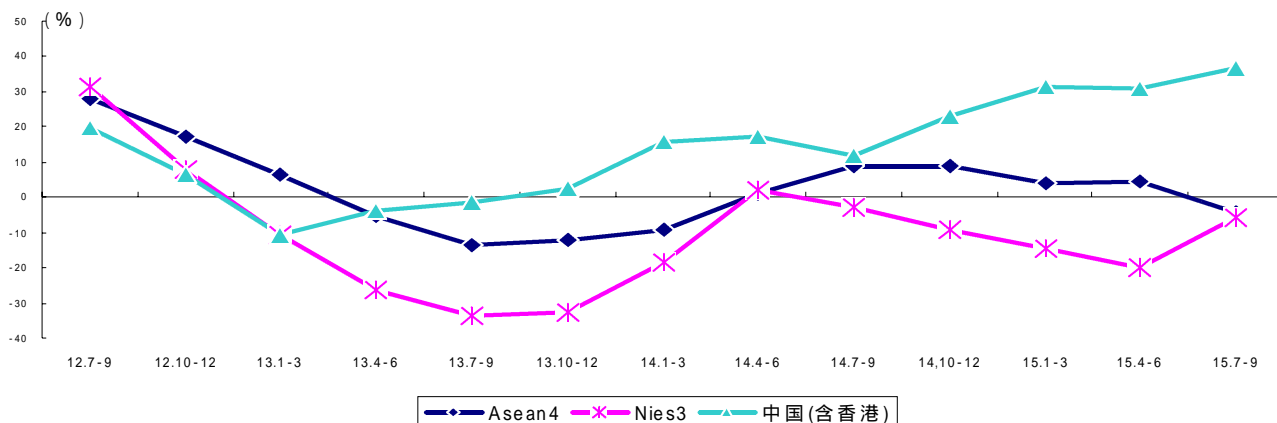
	計（業種・地域）		輸送機械		電気機械		一般機械		化学		鉄鋼	
D I(前期D I 当期D I)	4.2	2.0	13.2	9.7	1.8	1.9	7.6	4.8	0.4	0.7	14.8	18.3
D I(前期比)	2.2		3.5		0.1		2.8		1.1		3.5	
実績（前年同期比）	2.7		7.8		2.6		6.5		0.6		32.1	

	北米		アジア		A S E A N 4 *2		N I E S 3 *3		中国（香港を含む）		欧州	
D I(前期D I 当期D I)	1.7	8.8	7.5	7.8	3.2	0.9	4.3	3.6	16.9	15.5	5.2	9.4
D I(前期比)	7.1		0.3		2.3		7.9		1.4		4.2	
実績（前年同期比）	5.9		7.5		2.1		1.6		15.3		5.1	

【トピックス】

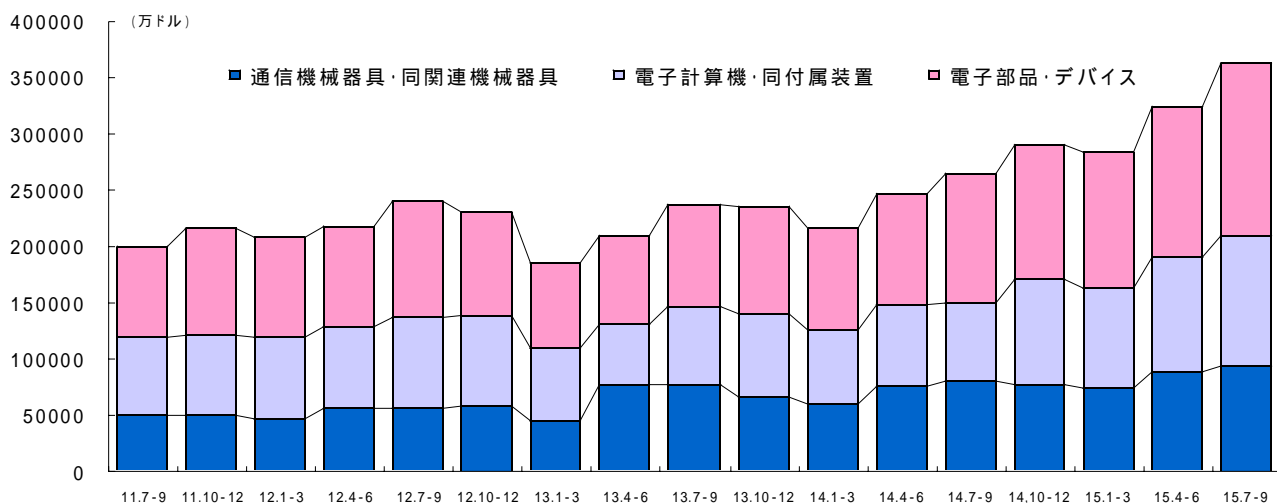
アジアのIT関連電気機械

中国が大きく成長、NIE S 3 は下落傾向から反転



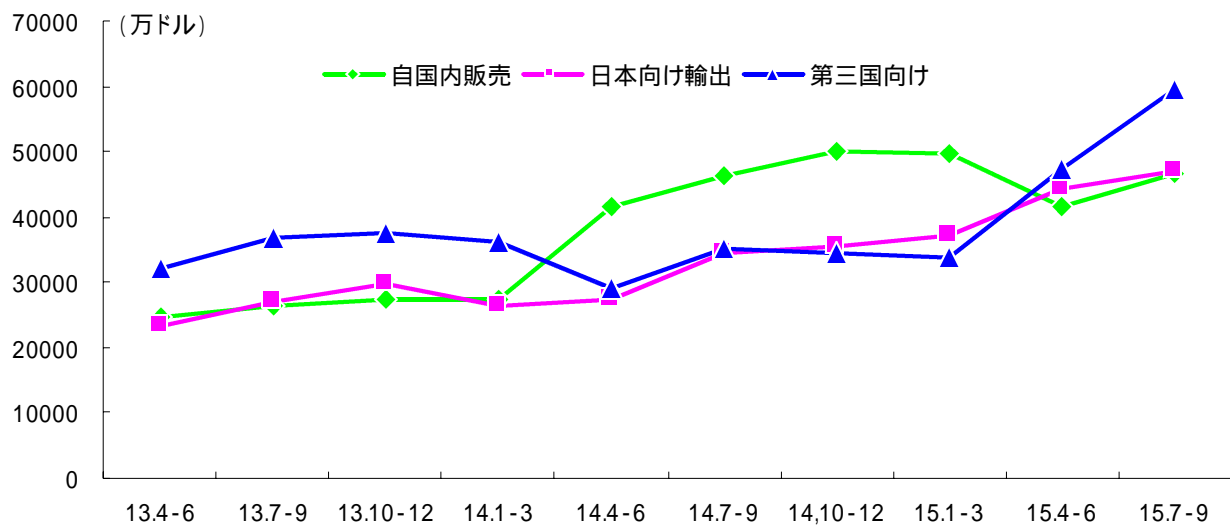
中国のIT産業売上高の推移

半導体素子、集積回路などの「電子部品・デバイス製造業」が4割を占める



中国の電子部品・デバイス製造業の仕向先

アメリカ、アジアの景気回復を背景に第三国向け・日本向けが好調



注) IT関連電気機械とは、通信機械器具・同関連機械器具(電話機、テレビ、ラジオ、ステレオなど)、電子計算機・同付属装置、電子部品・デバイス製造業(半導体素子、集積回路など)。